

解剖学 I ・ 解剖学 I 実習

【通年】集中 鶴尾 吉宏, 木戸玲子, 下北英輔, 玉村禎宏

ここで紹介された資料は**蔵本 2 階授業サポートナビコーナーにあります**ので、どうぞご利用ください。

(同じ本が 3 冊以上ある場合は★の場所にもありますので、そちらもご覧ください)

図書

授業のテーマをつかみ事前学習や復習を効率的に進めるために、これらの図書を読むことから始めましょう

<教科書>

- **Ross 組織学 原著第 7 版 / Wojciech Pawlina 著 ; 内山安男, 相磯貞和 監訳 南江堂 2019**
→ 組織学の総論と各論の内容が分かりやすくまとめられ、必要な写真も掲載されている。 【491.11||Ro】
- **カラーアトラス機能組織学 / Jeffrey B. Kerr 著 ; 河田光博, 小路武彦 監訳 エルゼビア・ジャパン 2013**
→ 機能的な観点から組織学の内容を学び、組織標本の写真を見て学習を進められる。 【491.11||Ke】
- **日本人体解剖学 改訂 19 版 上巻 / 金子丑之助 原著 ; 金子勝治, 穂田真澄 改訂 南山堂 2000**
→ 骨格系(骨と骨格筋)と神経系について書かれた、昔から使われている解剖学書である。巻末に解剖学用語が読み方、英語名、ラテン語名と共に併記され索引として記載されている。 【491.1||Ka||1】
- **カラー図解 神経解剖学講義ノート 寺島俊雄 著 金芳堂 2011**
→ 神経系の構造と回路について、分かりやすい図が多く、要点をまとめてあるので理解しやすい。 【491.17||Te】
- **臨床神経解剖学 / M J Turlough FitzGerald, Gregory Gruener, Estomih Mtui 著 ; 杉本哲夫, 車田正男, 河田光博 訳 エルゼビア・ジャパン 2013** → 豊富な図解によって、神経系の構造を機能面と臨床面の説明を十分に加えて分かりやすく解説している。 【491.17||Fi】

<参考書>

- **標準組織学 総論(第 5 版)・各論(第 5 版) / 藤田恒夫, 藤田尚男 著 医学書院 2015, 2017**
→ 組織学の総論と各論に分かれており、内容はしっかりしている。 ★【蔵本 2 階生命科学閲覧室 491.11||Fu】
- **分担解剖学 1 改訂第 11 版 / 森於菟, 小川鼎三, 大内弘, 森富 金原出版 1982**
→ 日本の錚々たる解剖学者によって書かれた骨格系(骨と骨格筋)の解剖学書である。
骨格筋については、部位別に表にまとめられ、起始、停止、支配神経、作用が分かりやすい。
解剖学用語はラテン語と併記されている。内容はしっかりして正確に記述されている。 【491.1||Ka||1】
- **骨学実習の手びき 第 4 版 / 寺田春水, 藤田恒夫 著 南山堂 1992**
→ 骨学実習を行う時に、骨について読み物として大まかに学習するのによい。 【491.16||Te】
- **エッセンシャル神経科学 / Allan Siegel, Hreday N. Sapru 著 ; 前田正信 監訳 丸善 2008**
→ 神経系について解剖学と生理学の両面から分かりやすく理解して学習できる。各章末に関連する臨床症例と簡単な問題が加えてある。 【491.37||Sh】
- **マーティン カラー神経解剖学 - テキストとアトラス 第 4 版 / ジョン H. マーティン 著 ; 野村巖, 金子武嗣 監訳 西村書店 2015**
→ 最初から神経学を学ぶには難しいと感じるが、ある程度勉強が進んだ段階で読むと理解が深まる。 【491.17||Ma】
- **Junqueira's Basic Histology : Text and Atlas 14th ed. / Anthony L. Mescher McGraw-Hill 2016**
ジュンケイラ組織学 第 4 版 / Anthony L. Mescher 著 ; 坂井建雄, 川上速人 監訳 丸善 2015
→ 人体組織をカラーイラスト、光学顕微鏡像、さらには電子顕微鏡像で体系的に解説している。 【491.11||Me】
- **How the Immune System Works 5th ed. / Lauren M. Sompayrac Wiley-Blackwell 2016**
→ 組織学における免疫学の基本事項を解り易くまとめている。 【491.8||So】
- **Histology for pathologists 4th ed. / Stacey E. Mills Wolters Kluwer Health/Lippincott Williams & Wilkins 2012** → 組織学を学ぶことの醍醐味を実感することができる本。組織の写真も豊富で美しい。 【491.11||Hi】
- **Histology and Cell Biology : An Introduction to Pathology 4th ed. / Elsevier Mosby 2016**

- 組織学の本でありながら、イラストによる病態も含めた生理学的解説がわかりやすい。【491.11||Ki】
- **Functional histology 2nd ed. / Jeffrey B. Kerr McGraw-Hill 2010**
→ 様々な染色法による組織像が美しく、解説も簡潔にまとめられている。日本語版もある。【491.11||Ke】
- **Cell biology and histology 7th ed. (Board review series) / Lippincott Williams & Wilkins 2014**
→ 要点が箇条書き式にまとめられており知識の整理に最適。章ごとにチェックテストがついている。【491.11||Ga】
- **Histology : a text and atlas : with correlated cell and molecular biology 7th ed. / Michael H. Ross, Wojciech Pawlina Wolters Kluwer/Lippincott Williams & Wilkins Health 2015** 【491.11||Ro】
- **Histology & cell biology : examination & board review 5th ed. (A Lange medical book) / Douglas F. Paulsen McGraw-Hill 2010** 【491.11||Pa】
- **Histotechnology : a self-instructional text 4th ed. / Freida L. Carson, Christa Hladik ASCP Press 2015** → 光学顕微鏡の試料作製法及び様々な組織染色法の手順とポイントが詳しく解説されている。【491.6||Ca】
- **Wheater's functional histology : a text and colour atlas 6th ed. / Barbara Young, Geraldine O' Dowd, Phillip Woodford Churchill Livingstone, Elsevier 2014**
→ 組織写真と模式図が組み合わされることにより、機能の理解が深められる。解説も最新版である。【491.11||Yo】
- **A Photographic Atlas of Histology 2nd ed. / Leboffe, Michael J. Morton Pub 2014** 【491.11||Le】
- **最新カラー組織学 / L. P. ガートナー, J. L. ハイアット著 ; 石村和敬, 井上貴央 監訳 西村書店 2003** → 組織学を中心に生理学・生化学的事項も含めまとめられている。本学の名誉教授が監訳者の一人である。【491.11||Ga】
- **実習人体組織学図譜 第5版 / Ulrich Welsch [著] / 藤田尚男, 石村和敬 訳 医学書院 2005**
→ 描図に加え光学写真、電子顕微鏡写真も豊富である。本学の名誉教授が監訳者の一人である。【491.11||Ji】
- **ガートナー/ハイアット組織学 : アトラスとテキスト 第3版 / レスリー・P・ガートナー, ジェームズ・L・ハイアット著/川上速人, 松村譲児 監訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル 2014** 【491.11||Ga】
- **顕微鏡写真で見る細胞組織学 : カラーアトラス / Wolfgang Kühnel 著 ; 坂井建雄, 石村和敬 訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル 2006**
→ 組織学実習をそのまま本にしたような構成になっていて、顕微鏡観察の際のポイントがつかみやすい。【491.11||Ku】
- **ウイター 図説で学ぶ機能組織学 原著6版 / Barbara Young, Geraldine O' Dowd, Phillip Woodford 著; 後藤薫, 和栗聡 監訳 エルセビア・ジャパン 2018** → わかりやすく簡潔にまとめられている。【491.11||Yo】

<備考>

- **日本人体解剖学 改訂19版 下巻 / 金子丑之助原著 ; 金子勝治, 穂田真澄改訂 南山堂 2000**
→ 組循環器系、内臓器官、感覚器について書かれた、昔から使われている解剖学書である。巻末に解剖学用語が読み方、英語名、ラテン語名と共に併記され索引として記載されている。【491.1||Ka||2】
- **分担解剖学 2, 3 改訂第11版 / 森於菟, 小川鼎三, 大内弘, 森富 金原出版 1982**
→ 第2巻は脈管系、神経系、第3巻は内臓器官、感覚器について書かれた解剖学書である。日本の錚々たる解剖学者によって書かれており、記述内容は正確である。解剖学用語はラテン語と併記されている。【491.1||Ka||2,3】
- **解剖学講義 改訂3版 / 伊藤隆原著, 高野廣子 改訂 南山堂 2012**
→ 人体のマクロ的構造をよくまとめており、機能的な関連も記載されて学習しやすい。【491.1||It】
- **現代の組織学 改訂第3版 / 山田安正 著 金原出版 1994** → 組織学を基本的なところから学習するのによい。片側のページに模式図で組織像を示しており、分かりやすい。【491.11||Ya】
- **機能を中心とした図説組織学 第5版 / B. Young [ほか] 著 ; 澤田元 [ほか] 訳 医学書院 2009**
→ 人体組織の写真が見やすく、模式図も分かりやすく、写真の説明で知識を学習できる。【491.11||Ki】
- **新編 カラーアトラス 組織・細胞学 / 岩永敏彦, 木村俊介, 小林純子 著 医歯薬出版 2017**

- 見開きで左に説明、右に写真があるので見やすい。実習時に参考として見るのにはよい。 【491.11||Iw】
- **組織細胞生物学 原著第3版 / Abraham L. Kierszenbaum 著; 内山安男 監訳 南江堂 2015**
→ 組織学と細胞生物学の内容を、網羅した模式図と写真によって視覚的に学習できる。各項目で関連する臨床的意義についても記載されている。 【491.11||Ki】
- **脳の機能解剖と画像診断 第2版 / Heinrich Lanferman, Peter Raab, Hans-Joachim Kretschmann, Wolfgang Weinrich 著; 真柳佳昭, 渡辺英寿 訳 医学書院 2018** → 脳の基本構造と神経伝導路をCTやMRIの断面に投影して分かりやすく説明している。 【492.4371||No】
- **脳と頭蓋底の血管系アトラス 臨床解剖のバリエーション / Walter Grand 著; 寶金清博 監修, 中山若樹 訳 医学書院 2018** → 脳と頭蓋底の血管解剖とバリエーションを詳しく説明している。 【494.627||No】
- **疾患別 臨床脳血管解剖テキスト Hybrid Neurosurgeon のための / 大宅宗一 監修, 遠藤英徳 編集 メディカ出版 2018** → 脳神経外科の治療・手術に必要な解剖学的知識を疾患別に学ぶことができる。 【494.627||Hy】
- **新 脳神経外科手術のための解剖学 / 塩川芳昭, 斉藤 延人, 川原信隆, 金彪 編集 メジカルビュー社 2019** → 脳神経外科手術を行う際の立体的イメージをつくるための解剖学的知識がわかる。 【494.627||Sh】